

第 53 回数理社会学会大会 (JAMS53) プログラム

日時：2012 年 3 月 14 日 (水) ～15 日 (木)

会場：鹿児島大学郡元キャンパス 総合教育研究棟

大会委員長：桜井芳生 (鹿児島大学)

1. 参加費, 懇親会費

大会参加費	一般 (会員)	4,000 円	学生・院生 (会員)	1,000 円
	一般 (非会員)	5,000 円	学生・院生 (非会員)	1,500 円
懇親会費	一般	5,000 円	学生・院生	1,500 円

2. 主なスケジュール

	時間	203 号室	201 号室	その他
3 月 13 日	16:00～18:30			セミナー
3 月 14 日	9:30～10:20	第 1 部会 ジェンダーと職業	第 2 部会 意思決定 1	
	10:30～11:45	第 3 部会 社会と数理	第 4 部会 信頼	
	12:30～13:50			萌芽的セッション
	14:00～15:15	第 5 部会 シミュレーション	第 6 部会 階層と地域	
	15:25～16:40	第 7 部会 震災	第 8 部会 実験	
	16:50～17:50	総会		
	18:00～20:00			懇親会
3 月 15 日	9:30～10:20	第 9 部会 社会的不平等	第 10 部会 家族	
	10:30～11:45	第 11 部会 社会意識	第 12 部会 意思決定 2	

3. 主な会場 (すべて総合教育研究棟)

- ・自由報告：203 号室, 201 号室
- ・萌芽的セッション・会員控室・抜き刷り交換コーナー：2 階プレゼンテーションホール
- ・セミナー：201 号室, 懇親会：教育学部食堂エデュカ, 各種委員会：202 号室

4. 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・部会開始 5 分前に集合して, 司会者と打ち合わせをしてください。報告時間 15 分, そのあと討論 10 分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます (ウインドウズ XP, オフィス 2003)。持参パソコンの場合, ウインドウズノートパソコンが使用可能です。その他の機器使用を希望する場合はご連絡ください。
- ・ファイルは当日持参してください (USB メモリ利用可)。
- ・(司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴, 15 分 2 鈴, 25 分 3 鈴を鳴らします。

5. ポスター報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・部会開始 5 分前に集合してください。
- ・最大 A0 判 (W841mm×H1189mm) のスペースが利用可能。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・可能であれば, ポスターを自由に閲覧できるよう, 第 1 部会から総会終了までの間掲示してください。

6. 問い合わせ先

研究事務局 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
成蹊大学文学部 小林盾
E-mail : jams.research@gmail.com, TEL : 0422-37-3663

大会事務局 〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30
鹿児島大学法文学部 桜井芳生
E-mail : sakurai.yoshio@nifty.com, TEL : 099-285-7544

【3月13日（火）】

13:00~14:30 研究活動委員 202号室

14:30~16:00 編集委員会 202号室

16:00~19:00 理事会 202号室

16:00~18:30 ワンステップアップ・セミナー 201号室

講師 佐藤嘉倫（東北大）

「プレゼンテーションの技法——日本語報告から英語報告まで」

【3月14日（水）】

9:00 開場・受付開始

9:25 開会挨拶 203号室

大会委員長 桜井芳生（鹿児島大）

9:30~10:20 自由報告

【第1部会】ジェンダーと職業 203号室

司会 小林大祐（仁愛大）

1 女性の労働参加が所得格差に与える影響について——数理モデルによる検討 数土直紀（学習院大）

2 初職就業にみられる性別の影響についての要因分解——専攻分野を媒介とした間接効果に注目して 高松里江（日本学術振興会, 大阪大）

【第2部会】意思決定1 201号室

司会 武藤正義（芝浦工業大）

1 General condition for strategy abundance resulting from self-questioning mechanism 関口卓也（東京工業大）

2 開放的集団における助け合いのメカニズム——経験的研究と数理的研究によるアプローチ 大林真也（東北大）

*****コーヒーブレイク*****

10:30~11:45 自由報告

【第3部会】社会と数理 203号室

司会 友知政樹（沖縄国際大）

1 3部門調整モデルと情報構造 藤山英樹（獨協大）

2 Targeted marketing, technology diffusion and consumer networks Jeong-Yoo Kim

(Kyung Hee University)

3 「バイオダーウィニスト」の「理解」社会学へ 再論——盛山博士『社会学とは何か』への論及も兼ねて 桜井芳生（鹿児島大）

【第4部会】信頼 201号室

司会 高田洋（札幌学院大）

1 信頼と寛容——概念整理と規定因 辻竜平（信州大）

2 取引相手の選別可能性が評判生成規範の寛容性に及ぼす効果 ○鈴木貴久（総合研究大学院大）

小林哲郎（国立情報学研究所）

3 初対面信頼と一人当たり GDP 大浦宏邦（帝京大）

***** 昼食*****

12:30~13:50 萌芽的セッション（ポスター部会） 2階プレゼンテーションホール

- 1 よそ者とうまく付き合うためのコモンズ管理ルールの解明——福島県
南会津地方の共有林管理を事例として ○朝岡誠（東京大）
金澤悠介（立教大）
林雅秀（森林総研）
松浦俊也（森林総研）
吉良洋輔（東北大）
- 2 職業階層と政党支持意識の長期的趨勢——対数線形・対数乗法モデル
による分析 伊藤理史（大阪大）
- 3 東日本大震災における地域ソーシャル・キャピタルの効果——復旧認
知の観点から 稲垣佑典（東北大）
- 4 誰がネットワーク財を普及させるべきか？——経済実験による分析 高橋広雅（広島市立大）
○小川一仁（関西大）
二村英夫（広島市立大）
- 5 社会的ジレンマにおける協力行動と他者行動認知の関連——東日本大
震災後の節電行動の計量分析 吉良洋輔（東北大）
- 6 職業における“楽しみ”の階層研究 小宮山智志（新潟国際情報大）
- 7 社会的支援の意図せざる結果——東日本大震災被災者のメンタルヘル
スに対するソーシャル・サポートの両義的效果 塩谷芳也（東北大）
- 8 戦後日本社会における高校中退要因の変化 菅澤貴之（同志社大）
- 9 社会ネットワーク分析における「無向測地線」概念の提案 杉原桂太（南山大）
- 10 不平等回避が自発的な提携形成に影響するか？——経済実験による分
析 ○高橋広雅（広島市立大）
小川一仁（関西大）
鈴木明宏（山形大）
竹本亨（帝塚山大）
- 11 社会的地位階層制の数理モデル——Gould モデルの改良 瀧川裕貴（総合研究大学院大）
- 12 一般化順序ロジットモデルを用いた意識・行動変数の分析 ○谷岡謙（大阪大）
藤原翔（大阪大）
伊藤理史（大阪大）
- 13 機会均等社会における富の偏在と適性化に関する確率過程モデル——
パレートの法則の再考 佐野健一（中央大学）
○友知政樹（沖縄国際大）
河野光雄（中央大学）
- 14 自営業者の職業経歴 仲修平（関西学院大）
- 15 外国人に対する権利付与への支持の規定要因——社会的権利と文化的
権利の差に注目して 永吉希久子（東北大）
- 16 階層帰属意識に関する地位継承モデルと Fararo-Kosaka モデルの統合 浜田宏（東北大）
- 17 Web 調査における公募型モニターと非公募型モニターの回答傾向 ○樋口耕一（立命館大）
中井美樹（立命館大）
湊邦生（立命館大）
- 18 コンセンサス問題における共存解・独占解の安定性条件 ○藤江遼（東京大）
合原一幸（東京大）
増田直紀（東京大）

- | | | |
|----|--|--|
| 19 | 分冊型の調査票設計に関する一考察 | ○前田忠彦（統計数理研究所）
尾崎幸謙（統計数理研究所） |
| 20 | 階層帰属意識における準拠集団選択の異質性 | 前田豊（関西学院大） |
| 21 | 競争環境における集団分割戦略の進化 | ○三浦佳南（東京工業大）
中丸麻由子（東京工業大）
辻和希（琉球大） |
| 22 | 相互権力 | 山崎晋 |
| 23 | 知覚エラーの影響による選別的利他戦略の挙動の分析 | 山本友（芝浦工業大）
○熱田啓保（芝浦工業大）
中井豊（芝浦工業大） |
| 24 | 子育てストレスと家族・自治体・社会的サポート——東京 49 市区子育て調査の分析を通じて | 渡邊大輔（成蹊大） |
| 25 | 連帯高次化のネットワーク理論 | 三隅一人（九州大） |

*****コーヒーブレイク*****

14:00~15:15 自由報告

【第5部会】シミュレーション 203号室

司会 七條達弘（大阪府立大）

- | | | |
|---|---------------------------------------|---------------------------|
| 1 | 多数決投票ルールにおける正直投票の安定性 | 関根哲（東京工業大）
武藤滋夫（東京工業大） |
| 2 | 世の初めから開かれている場所——エージェントベースモデルによるマツリの分析 | 堀内史朗（明治大） |
| 3 | 枯渇性資源と消費欲求，コンフリクト | 石田葉月（福島大） |

【第6部会】階層と地域 201号室

司会 神林博史（東北学院大）

- | | | |
|---|--|-------------------------------------|
| 1 | 潜在クラス分析によるcommons管理の分類——『昭和49年全国山林原野入会慣行調査』にもとづく分析 | 金澤悠介（立教大） |
| 2 | Tokyo as Global City: Wage inequality, industry and occupation in national perspective | ○デブナール=ミロシュ
(京都大) |
| 3 | 関心を持ったのは国の政治か地方政治か——階層論的観点から | 安井大輔（京都大）
太郎丸博（京都大）
井出知之（東北大） |

*****コーヒーブレイク*****

15:25~16:40 自由報告

【第7部会】震災 203号室

司会 筒井淳也（立命館大）

- 1 地域 SNS における日記とコメントのネットワーク分析——低線量被曝をめぐり
るリスクコミュニケーション システム研究機構） 鈴木努（情報・
- 2 東日本大震災における「原発」に関する Twitter ユーザーの動向分析 ○松本徳義（芝浦工業大）
武藤正義（芝浦工業大）
鳥海不二夫（名古屋大）
- 3 個人のサポートに対する個別的・集合的
社会関係資本の役割——東日本大震災の被災者を対象に 鈴木伸生（東北大）

【第8部会】実験 201号室

司会 石田淳（関西学院大）

- 1 電動バイクと早朝の音環境に関する調査研究 ○岡村龍（芝浦工業大）
武藤正義（芝浦工業大）
- 2 友情の同盟仮説 ○石黒格（日本女子大）
竹村幸祐（京都大）
- 3 犯罪被害調査の開発に関する研究——インターネット調査の可能性と
限界 ○津島昌寛（龍谷大）
浜井浩一（龍谷大）

16:50~17:50 総会 203号室

18:00~20:00 懇親会 教育学部食堂エデュカ

【3月15日(木)】

9:00 開場

9:30~10:20 自由報告

【第9部会】社会的不平等 203号室

司会 永吉希久子(東北大)

- 1 複合マクシミン——多人数状況における平等と効率の統合指標
- 2 ボランティア活動参加における階層依存性の検討

武藤正義(芝浦工業大)
小川翔平(東北大)

【第10部会】家族 201号室

司会 渡辺勉(関西学院大)

- 1 小さなコウホートが初婚過程に入る効果
- 2 結婚における最適交際人数

池周一郎(帝京大)
小林盾(成蹊大)

*****コーヒーブレイク*****

10:30~11:45 自由報告

【第11部会】社会意識 203号室

司会 石黒格(日本女子大)

- 1 評定尺度法の調査項目における反応の構えについて——SSP-I2010 調査の事例から
- 2 個人的・社会的意識の態様と変化——パネルデータによって見える《意識変化》
- 3 最適地位選択モデルによる主観的地位分布の説明

前田忠彦(統計数理研究所)
○山本耕資(中央大)
三輪哲(東北大)
石田淳(関西学院大)

【第12部会】意思決定2 201号室

司会 塩谷芳也(東北大)

- 1 コミュニケーション・プロセスとしての社会的選択理論
- 2 ベイズ学習は順位制を促進する
- 3 身近な人の参照による流行現象

志田基与師(横浜国立大)
○瀧川裕貴(総合研究大学院大)
大槻久(総合研究大学院大,
JST さきがけ)
濱本真一(東北大)

11:50 閉会挨拶 203号室

大会委員長 桜井芳生(鹿児島大)

(備考)

1. ○印は登壇者を示します。☐は英語による報告です。The ☐ symbol stands for English presentations.
2. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。これまでに書かれた論文・報告書・マニュアル等で配布できるものがあればお寄せください。印刷物だけでなく、自作のコンピュータ・ソフトウェアなどもどうぞ。事前にお送りいただいても結構です。「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛にお送り下さい。
3. ワンステップアップ・セミナー参加には申し込みが必要です。無料、定員35名(先着順)。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。

(変更履歴)

- 2012年2月10日 公開(未定部分は確定しだいウェブページで更新します)
2012年2月15日 萌芽的セッション第25報告追加
2012年3月2日 司会を確定